

Press Release

このリリースに関する連絡先

広報担当 榊原優
03 6271 9408
yu.sakakibara@bakermckenzie.com

ベーカーマッケンジー、アサヒグループによるアンハイザー・ブッシュ・インベブ社傘下であるカールトン・アンド・ユナイテッド・ブルーワリーズの買収に関して、三井住友銀行に法的アドバイスを提供

【東京発 2019年9月10日】ベーカーマッケンジー法律事務所（外国法共同事業）（所在地：東京都港区、代表パートナー：近藤浩、以下、「ベーカーマッケンジー」）は、アサヒグループホールディングス株式会社（以下、「アサヒグループ」）が Anheuser-Busch InBev SA/NV（以下、「AB インベブ社」）の傘下であるカールトン・アンド・ユナイテッド・ブルーワリーズ（以下、「CUB」）を買収するに際し、株式会社三井住友銀行（以下、「三井住友銀行」）に対して法的アドバイスを提供しました。

アサヒグループは、AB インベブ社より CUB 及びその関連事業を 2019年7月19日に純負債ゼロの企業価値を前提とする 160億豪ドル（約1兆2,100億円）で、買収することで同意しました。クロージングは 2020年第1四半期になる見込みです。

ベーカーマッケンジーでは、東京事務所のギャビン・ラフテリー及び北村辰一郎がリードパートナーとして本案件を率い、シニア・アソシエイトである堀川恵美子が携わりました。

本案件について北村弁護士は、「目まぐるしく変化する市場の中、このような非常に重要な案件において、三井住友銀行とアサヒグループを支援させていただき大変光栄に思います。長期的な視点で日本企業がグローバルでの競争力をより高めるために最大限のサポートを提供すべく尽力して参ります」と述べています。

さらに、ベーカーマッケンジーのアジア地域における銀行・金融グループの代表を務めるラフテリー外国法事務弁護士は、「このような複数の法域にまたがる複雑な案件は、私たちの買収ファイナンス分野における高い専門性と優位性があるからこそ成せるものと信じています。本取引をスムーズかつ成功裡に終えることができ嬉しく思います」と述べています。

本件における責任者



ギャビン・ラフテリー

銀行・金融グループ、パートナー

03 6271 9454

gavin.raftery@bakermckenzie.com

ベーカーマッケンジーのアジア太平洋地域における銀行・金融グループの代表を現任、また東京事務所の銀行・金融グループ共同代表及び経営委員会のメンバーを務める。オーストラリア、英国、及び日本において金融法務実務に従事した経験を有し、Chambers、Legal 500、及びIFLRにより、日本の銀行・金融分野における優れた弁護士として選出されている。



北村辰一郎

銀行・金融グループ、パートナー

03 6271 9466

shinichiro.kitamura@bakermckenzie.com

東京オフィスの銀行・金融グループに共同代表。買収ファイナンス（インバウンド及びアウトバウンド）、プロジェクトファイナンス、一般融資、及びコーポレートファイナンスを専門とする。国内外の企業に対し、取引案件及び規制関連事項に関するアドバイスを提供する。Chambersにより、日本の銀行・金融分野における優れた弁護士として選出されている。

ベーカーマッケンジーについて

ベーカーマッケンジーは、世界を舞台とする厳しい競争に立ち向かうクライアント企業を支援します。私たちは、様々な国や幅広い業務分野に関わる複雑な法的課題を解決します。70年以上にわたり独自の文化を育んできた当事務所では、13,000人の所員が現地の市場を理解し、複数の国や地域に跨る案件を巧みに遂行することができます。信頼のおける同僚・友人のように、互いに協力して案件に臨むことで、クライアント企業と信頼を築きます。

www.bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、ベーカーマッケンジーの東京事務所として1972年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカーマッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。

www.bakermckenzie.co.jp

